



NetAppライフサイクルプランニングを使用する

Lifecycle planning

NetApp
November 10, 2025

目次

NetAppライフサイクルプランニングを使用する	1
ライフサイクル計画によって特定された容量の問題を確認し、修正する	1
ライフサイクル計画におけるキャパシティステータスの確認	1
コールドデータをクラウドストレージに階層化し、ライフサイクル計画で特定されたストレージを解放します。	3
ライフサイクル計画で再度確認するためのリマインダーを設定する	4

NetApp ライフサイクルプランニングを使用する

ライフサイクル計画によって特定された容量の問題を確認し、修正する

キャパシティ プランニングには、環境内の現在のキャパシティと予測されるキャパシティの低い領域を特定することが含まれます。ライフサイクル プランニングでは、AI を使用してデータの増加を予測し、計画プロセスを支援します。ライフサイクル計画では、環境内の容量の低い領域を特定します。

ライフサイクル計画を使用すると、次の目標を達成できます。

- ・ "容量ステータスを確認する"
- ・ "コールドデータをクラウドストレージに階層化してストレージを解放する"
- ・ "何も選択せず、再度確認するためのリマインダーを設定します"

ライフサイクル計画におけるキャパシティステータスの確認

環境内のストレージ資産が現在 90% の容量のしきい値を下回っているか、下回ると予測される場合、ライフサイクル プランニングではそれらを低容量リソースとして識別し、警告を発します。さらに、ライフサイクル プランニングでは、データを階層化する必要があるかどうかに関する推奨事項が提供されます。

容量の問題の解決に役立てるために、次の種類のデータを確認することができます。

- ・ プラットフォーム
- ・ 資産の所在国
- ・ 月ごとの現在の容量と予測容量

手順

1. "[NetApp Consoleにログインする](#)。"
2. 左側のナビゲーションから、[容量] を選択します。

System	Model	OS version	Serial number	HA pair	Support Co.	EOS date	Capacity util.	%
FAS8700	9.15.1P8				2026-12-31	2030-11-30	71.72 %	...
FAS8200	9.15.1P8				2026-12-31	2026-11-30	82.05 %	...
FAS8200	9.15.1P8				2026-12-31	2026-11-30	82.02 %	...
FAS8200	9.15.1P8				2026-12-31	2026-11-30	77.53 %	...
FAS8700	9.15.1P8				2025-12-31	2030-11-30	68.65 %	...
FAS8700	9.15.1P8				2025-12-31	2030-11-30	68.17 %	...
FAS8700	9.15.1P8				2025-12-31	2030-11-30	64.87 %	...
FAS8700	9.15.1P8				2026-12-31	2030-11-30	58.53 %	...
FAS8700	9.15.1P8				2026-12-31	2030-11-30	57.89 %	...

3. 「容量」ページからシステムを選択します。

Platform type ONTAP	Model FAS8700	Company name [redacted]
Country US	Incumbent partner [redacted]	System age 0 Years

4. アセットの*ストレージ オプションの評価*を選択します。

5. 次のいずれかのオプションを選択します。

- ベスト プラクティス: ベスト プラクティスを表示するには、リンクをクリックして続行します。
- 階層コールドデータ: 続行"コールドデータをクラウドストレージに階層化し、ストレージを解放する"。
- アクションは必要ありません: 続行するには"何も選択せず、再度確認するためのリマインダーを設定する"。

コールドデータをクラウドストレージに階層化し、ライフサイクル計画で特定されたストレージを解放します。

ライフサイクル プランニングでは、予測されるデータの増加に基づいて推奨事項が提供されます。予測を受け入れるか、独自の予測を入力することができます。これに基づいて、ライフサイクル プランニングでは、予測される容量の増加を満たし、ストレージ資産の構成に最適な推奨事項が提示されます。推奨事項の 1 つは、容量を解放するためにコールド データをクラウド ストレージに階層化することです。この推奨事項は、別の製品であるNetApp Cloud Tieringへの接続を開始します。

そこから、データを階層化し、ライフサイクル プランニングに簡単に戻って他のシステムでアクションを実行できます。

クラウド階層化プロセスには、次のプロセスが含まれます。

- ・コンソールエージェントを展開する
- ・クラスターを発見する
- ・クラウドへの階層化を設定する

手順

1. "[NetApp Consoleにログインする](#)"。
2. アセットの*ストレージ オプションの評価*を選択します。
3. *Tier Cold Data*を選択します。
4. 次の手順は、コンソール エージェントがすでに展開されていて、クラスターが検出されているかどうかによって異なります。
 - コンソールエージェントを導入する必要がある場合は、NetApp Consoleのドキュメントを参照してください。 "[コンソールエージェントの作成方法](#)"。それ以外の場合、コンソール エージェントをすでに展開している場合は、エージェントを展開するオプションは表示されません。
 - サービスがクラスタを検出する必要がある場合は、"[オンプレミスのONTAPクラスタの検出](#)"。それ以外の場合、クラスターがすでに検出されていると、クラスターを検出するオプションは表示されません。

ライフサイクル プランニングにより、別の製品であるNetApp Cloud Tieringへの接続が開始されます。

The screenshot shows the NetApp Cloud Tiering interface in the NetApp Console. The main area displays a step-by-step guide titled "Tier cold data to the cloud". The steps are:

- ① Deploy agent: Create your first Agent to provide secure management of resources. If you already have an Agent, turn it on and then we'll redirect you to the next step.
- ② Discover cluster: Discover the selected cluster. If the cluster is already discovered, you will automatically continue with the next step.
- ③ Set up tiering: Define tiering and select the volumes you want to tier.

At the bottom of the main panel are "Back" and "Continue" buttons. The sidebar on the left lists "Cloud Tiering", "On-premises dashboard", and "Clusters".

5. *エージェントのデプロイ*を選択します。
6. クラウド プロバイダーを選択し、[続行] を選択します。
7. *続行*または*デプロイメントにスキップ*を選択します。

コンソール エージェントを展開すると、NetApp Cloud Tiering はクラスターを検出します(まだ検出されていない場合)。

8. クラスターが検出されたら、階層化を設定します。

階層化の詳細については、["NetApp Cloud Tiering ドキュメント"](#)。

ライフサイクル計画で再度確認するためのリマインダーを設定する

容量や階層のコールド データを追加するのではなく、ライフサイクル プランニングで「現時点ではアクションは不要」を選択し、30 日、60 日、または 90 日後に再度確認するためのリマインダーを設定できます。

手順

1. ["NetApp Consoleにログインする"](#)。
2. アセットの*ストレージ オプションの評価*を選択します。
3. *アクションは必要ありません*を選択します。
4. 容量不足の問題について再度通知を受ける間隔を 30 日、60 日、または 90 日の中から選択します。
5. *保存*を選択します。

結果

その時間が経過すると、リスクはリスクのリストに再び表示されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。